

鉄道における 「プラットフォーム」の現状と 通信プラットフォームへの要望

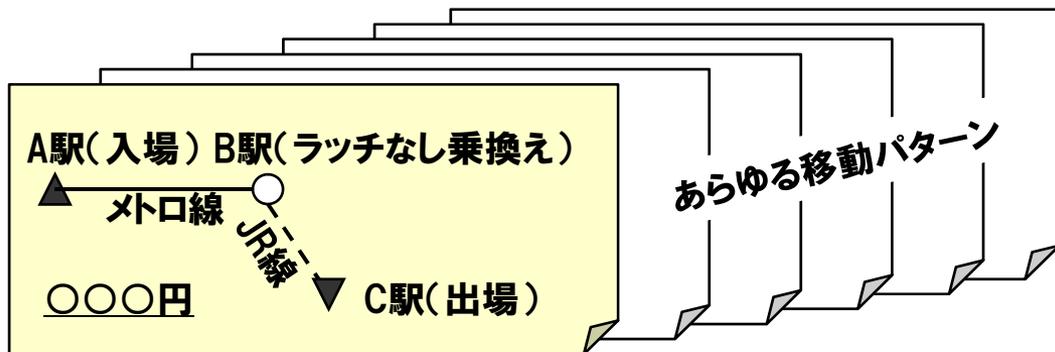
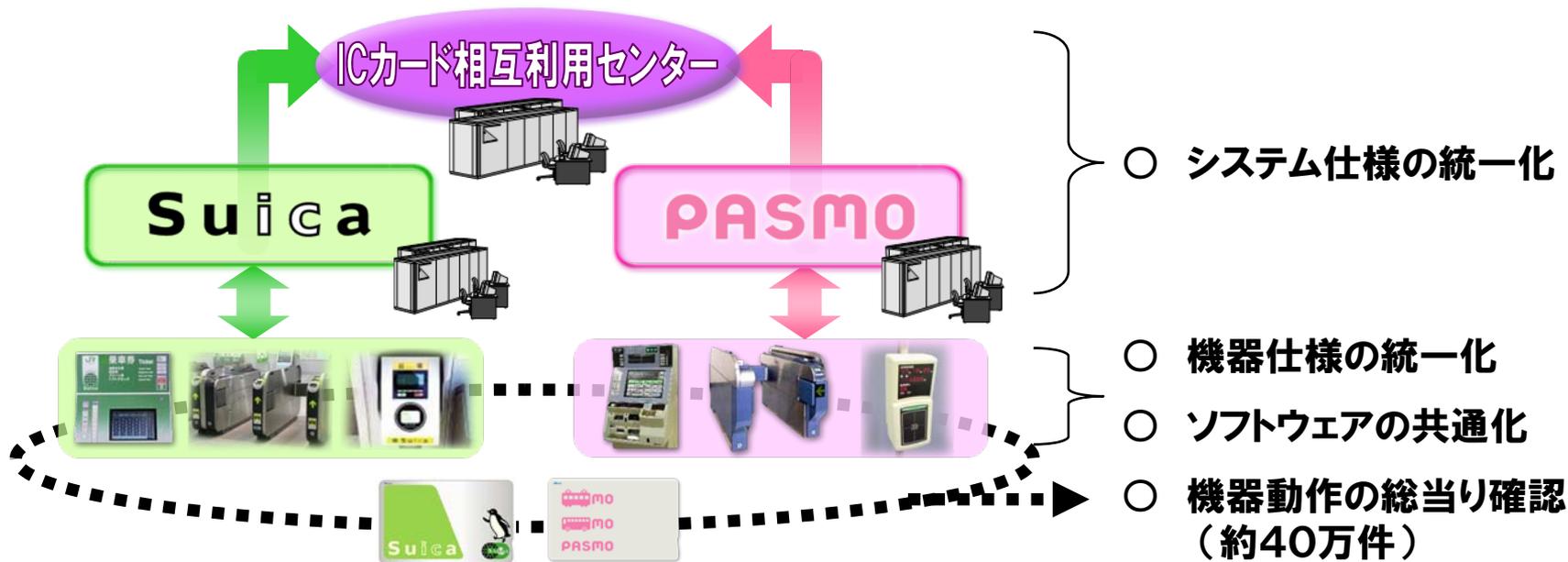
2008年4月11日

東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役
IT・Suica事業本部長 鉄道事業副本部長

小縣 方樹

IC乗車券清算プラットフォームの共通化

【首都圏ICカード相互利用システムイメージ図】



- 運賃判定検証の実施 (約12億3千万通り)

交通IC乗車券の広がり。

札幌エリア

- : 2008秋「Kitaca」(JR北海道)
- : 2009.1～「SAPICA」(札幌市交通局)

近畿エリア

- (JR西日本、関西民鉄16事業者)
- : 2003.11～「ICOCA」
- : 2004.8～「PiTaPa」

JR東日本

- 首都圏、仙台、新潟エリア
- 「Suica」

首都圏(101事業者)

- 2007.3 「PASMO」

九州エリア

- : 2008.5～「nimoca」(西鉄)
- : 2009春「SUGOCA」(JR九州)
- : 2009春 名称未定(福岡市交通局)

静岡エリア(JR東海)

- : 2008.3.1～「TOICA」

名古屋エリア

- : 2006.11～「TOICA」
- : 2010年度 (名鉄、名市交)

岡山・広島エリア(JR西日本)

- : 2007.9～「ICOCA」

プラットフォーム共通化の効果

～首都圏相互利用サービス開始後1年の実績～

Suica発行枚数

24%

モバイルSuica会員数

153%

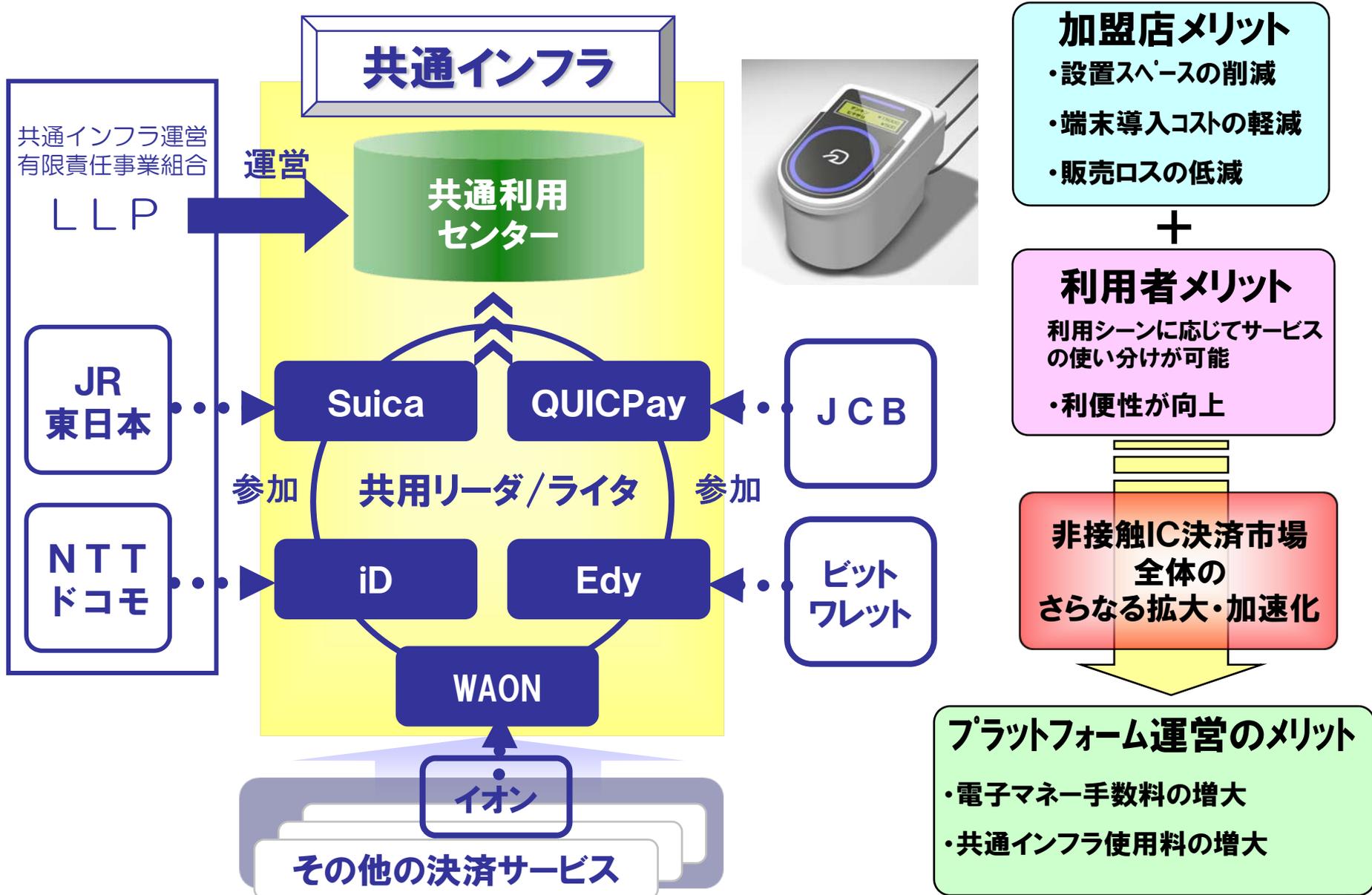
Suicaチャージ件数

84%

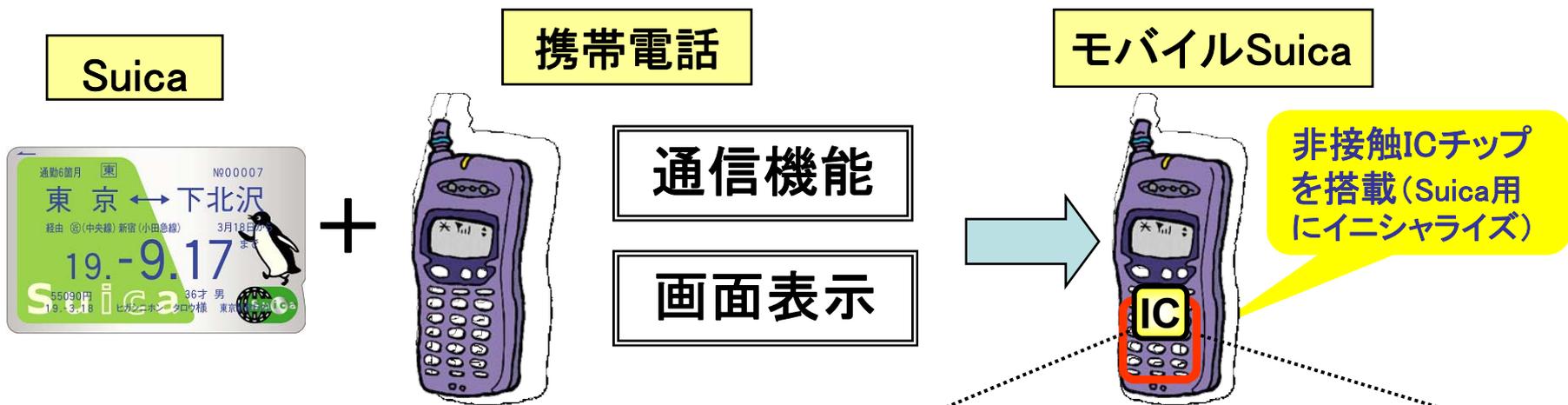
電子マネー利用件数

114%

共用R/W端末と共通インフラによる利用先拡大



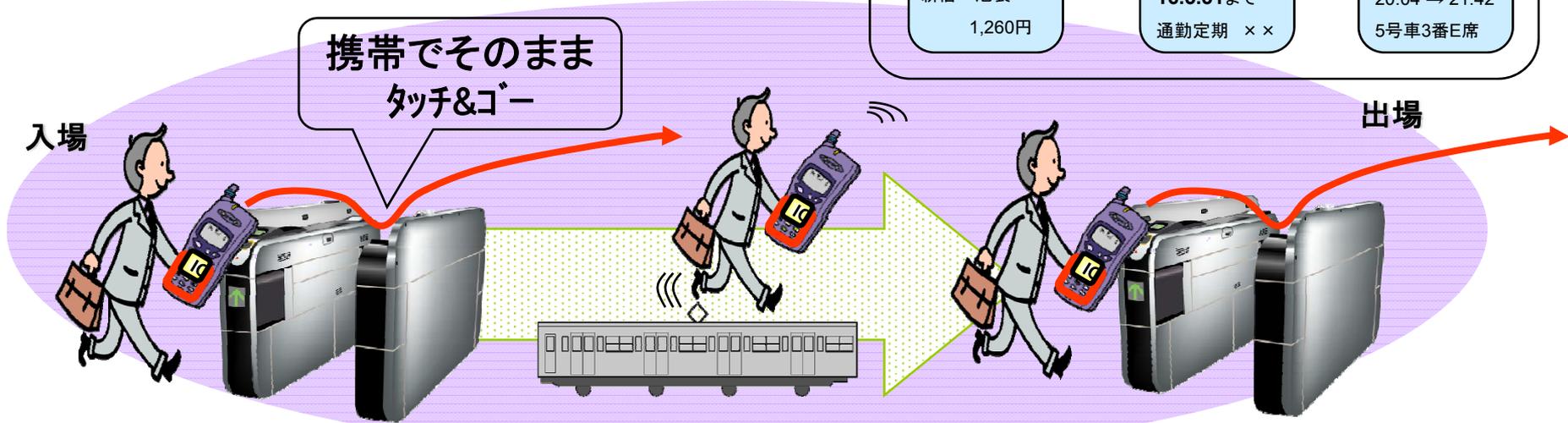
通信との融合サービス「モバイルSuica」



2006年1月28日サービス開始

モバイルSuica 利用イメージ

携帯でそのまま
タッチ&ゴー



イオ	定期	新幹線
イオの履歴 チャージ 3000円 4,260円 新宿-池袋 1,260円	東京 ⇄ 新宿 経由: 品川 16.3.1から 16.5.31まで 通勤定期 × ×	11月28日 はやて29号 東京 → 仙台 20:04 → 21:42 5号車3番E席

通信プラットフォームへの要望①

- 端末プラットフォームの共通化について

- 現状

- コンテンツ側は端末プラットフォームの不統一に自助努力で対処している
 - MVNOが独自端末を出した場合、不統一が更に進む懸念もある
 - 完全統一によってコストは低減するが、発展性が阻害されるなどの懸念がある

- 提案

- 共通仕様プラス拡張仕様としてはどうか
 - 携帯電話の世代交代時などが実施の機会となり得る

通信プラットフォームへの要望②

- ユーザーIDの使い勝手

- 現状

- 現在のユーザーIDだけではアプリケーションで利用するには不十分
 - アプリケーション側は独自で各種の情報を収集せざるを得ない

- 提案

- ユーザーIDの使い勝手を高めるためには、各種の情報が付加されることが必要

通信プラットフォームへの要望③

- ユーザーIDポータビリティ
 - 趣旨については大いに賛同
 - 何をもってIDとするか
 - 既存IDを流用すると運用コストは小さいが、競争の阻害や利用の公平面での不安がある
 - 新規IDを設定すると公平性は保たれるが、運用コストが増大する
 - モバイルだけに閉じた世界か
 - FMCを考慮すると有線通信も包含すべき
 - 対象領域を通信の外に拡大することの是非